

◎古代の但馬道

～南北文化交流の道～

但馬道は、飾磨を起点に市川沿いを北上し、^{かむさきのこおり}神前郡(福崎町、市川町、神河町)を抜けて、但馬国へ向かっています。古代の但馬道は現在のJR播但線に沿って走っていたと考えられています。

『播磨国風土記』には、姫路市飾磨区三宅の名について次のように記されています。仁徳天皇が隠岐、出雲、伯耆、因幡、但馬の5カ国の国造を召還した際、5人が使いの者を船頭代わりにして飾磨から都に向かうと、天皇の使者を手足に使うとは大罪であるとして播磨国に追放され、田の開墾を命じられました。その田は直轄地となり、収穫された稲は朝廷に納められたため、飾磨御宅と名付けたといいます。この話は、飾磨が海陸の交通拠点であったこと、また播磨に日本各地の人が集まっていたことを示しています。

STORY

応神天皇、播磨を旅する

第15代天皇とされる応神天皇は、神功天皇の三韓遠征の帰途で生まれたと説話にあります。『播磨国風土記』の中では品太天皇として、その名が残っています。

・道を作り、諸国を巡回

『播磨国風土記』には応神天皇が巡行されたという記事が数多く見られます。神前郡の^{かびやまのきと}蔭山里(現在の豊富町御蔭)の条には、「蔭山」というのは応神天皇の御陰(髪飾り)をこの山に落としたことで名付けたと記されています。このとき、道を切り開く刃が鈍かったので、「砥石を掘ってこい」と命じたことから砥布理村(現在の砥堀)と名付けられたと記されています。飾磨郡砥堀の条にも、応神天皇が神前郡と飾磨郡の境に市川に沿って道を作った際、砥石が出てきたので「砥堀」と名付けたと記され、同じ地のことだといわれています。

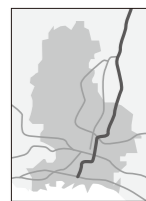
飾磨郡^{あきごのさと}安相里の条には、応神天皇が但馬から播磨へやってくる途中、福崎町付近を通って来たことが分かる記述があります。安相里の比定地ははっきりせず、四郷町とも飾磨区ともいわれますが、但馬の朝来の人を来させて水田の耕作をさせたため「安相里」と名付けられたとあり、但馬から市川沿いの道が通っていたことが推測できます。

・生野の名前の由来

現在、生野は但馬地域に位置していますが、古代においては播磨国に含まれていました。神前郡の条に生野の記述があります。昔、ここに「荒ぶる神」がいて、通行人の半分を殺したため「死野」と名付けられていたものを、応神天皇が「名前がよくない」と言って「生野」という名前に改めたというものです。荒ぶる神とはヒトに災いをもたらす神のことであり、その厄災で多くの人が死んだのかもしれませんが。いずれにせよ、播磨と但馬にある生野峠を多くの人が行き交っていたことが想像できます。

◎近代の但馬道

～近代化・富国への道～



明治維新により新政府が発足すると、富国強兵と殖産興業を核とした近代化に向けた改革が始まりました。殖産興業とは政府の力で近代産業を育成しようとするもので、鉄道、電信、造船などの官営事業の創設、紡績・製糸などの模範工場の建設を行い、生野銀山の国営化もその取り組みの一つでした。さらに、政府は銀の増産を目指し、新しい輸送手段として「生野鉱山寮馬車道」(通称:銀の馬車道)を建設。現在の朝来市生野町と飾磨港の間を市川沿いに結んだ馬車専用道路は、日本初の高速産業道路ともいべき道でした。

かつてない大プロジェクト

生野銀山で最初に銀が見つかったのは大同2年(807年)と伝えられています。本格的な採掘が始まったのは天文11年(1542年)といわれ、その後、織田信長、豊臣(羽柴)秀吉により直轄され、江戸時代には天領として幕府の財政を支えてきました。明治時代になると、近代化を推し進めるため、政府は銀の増産を計画しました。しかし、当時の銀を運ぶための道は細く曲がりくねった小さな街道だけ。そこで、明治6年(1873年)、フランスから招いたレオン・シスレーを技師長として馬車道の工事を始めました。明治9年(1876年)、天候に左右されずに馬車が通行できる約49kmの堅固な道「生野鉱山寮馬車道」が完成。当時は頻りに馬車が行き交い、沿線は大いににぎわったといえます。明治28年(1895年)に姫路～生野間に播但鉄道(現JR播但線)が開通すると、馬車道は徐々に役割を終え、大正9年(1920年)には廃止されました。現在は、県道や国道に姿を変えていますが、かつての姿に思いをはせることのできる痕跡も残っています。

観光への取り組み ～銀の馬車道ネットワーク～

銀の馬車道が通る姫路市、福崎町、市川町、神河町、朝来市と兵庫県といった行政、商工会議所などの各種団体、旅行社・交通事業者などの企業、学識者などが銀の馬車道ネットワーク協議会を結成し、銀の馬車道プロジェクトを展開しています。ラッピング列車、バスの運行、銀の馬車道関連商品の開発をはじめ、「銀の馬車道劇団」による公演活動などさまざまな取り組みを進めています。



福崎町:辻川界隈と大庄屋「三木家」
(保存修理工事中)



市川町:甘地獅子舞い



神河町:砥峰高原



朝来市:生野銀山